

山梨県市町村総合事務組合立  
一般廃棄物最終処分場建設工事

審 査 講 評

平成 26 年 11 月 4 日

山梨県市町村総合事務組合立  
一般廃棄物最終処分場建設工事  
総合評価技術委員会

## はじめに

山梨県市町村総合事務組合立一般廃棄物最終処分場建設にあたっては、設置、運営から廃止に至るまでの長期間にわたる高い安全性と信頼性、経済性が求められることはもちろんのこと、環境保全のための拠点施設としての役割を担い、地域に貢献するとともに、地域の誇りとなるような施設とすることが求められている。

総合評価技術委員会では、資格審査及び基礎審査を満足した応募者の提案書に対し、落札者決定基準書に基づいて厳正に、技術提案審査及び入札価格審査を行い、総合評価を実施した。また、公正かつ中立な審査を行うため、建設工事共同企業体やその構成員など、入札参加者を特定できる情報を排除して審査を行った。

今回、「アカマツ」及び「ヒノキ」の2つのグループから技術提案があったが、それぞれの提案書は、いずれの項目においても要求水準書を上回り、かつ具体的な提案がなされており、ともに優れたものであった。関係各社におかれては、設計書等の精査、技術提案書の作成、及びヒアリング等の際し、多大な労力を費やされたものと考えられ、敬意を表するものである。

当委員会としては、こうした入札参加者のご苦勞に応えるためにも、長期にわたる高い安全性と信頼性、並びに経済性を兼ね備えた最終処分場が建設され、地域住民が安心感をもって利用できる良質な社会資本となることを切に期待する。

## 〈 目 次 〉

1. 総合評価技術委員会 .....	1
2. 審査方法 .....	1
3. 総合評価技術委員会等の開催状況 .....	2
4. 審査結果の概要 .....	3
4.1 応募者 .....	3
4.2 資格審査 .....	3
4.3 基礎審査 .....	4
4.4 技術提案審査 .....	4
4.5 入札価格審査 .....	7
4.6 総合評価点の算出及び落札候補者の選定 .....	7
5. 審査講評 .....	8

## 1. 総合評価技術委員会

山梨県市町村総合事務組合立一般廃棄物最終処分場建設工事（以下、「本工事」という。）における総合評価技術委員会は、以下の5名により構成し、設置された。

表1 総合評価技術委員会構成委員

	氏名	所属
委員長	平山 公明	学識経験者 山梨大学大学院教授
委員長代理	後藤 聡	学識経験者 山梨大学大学院准教授
委員	小野 雄策	学識経験者 日本工業大学特任教授
委員	滝口 光視	山梨県市町村総合事務組合 一般廃棄物最終処分場 運営委員会委員長（甲府市環境部廃棄物対策室長）
委員	佐藤 昭夫	公益財団法人山梨県環境整備事業団 境川建設事務所長

## 2. 審査方法

審査方法は、落札者決定基準書に示すとおりとし、基礎審査、技術提案審査、入札価格審査の3項目を第4回総合評価技術委員会で審査した。

基礎審査は、事務局が事前に提出書類及び提案図書と要求水準書の適合性を審査し、委員会において結果を確認した。

技術提案審査は、応募者からのヒアリング（プレゼンテーション40分、質疑応答30分）を個別に実施し、技術提案書等の提案内容を評価して点数化した。

入札価格審査は、委員立会いのもと開札し、入札書に記載された金額が入札書比較価格の範囲内であることの確認を行い、入札価格を点数化した。

総合評価点を算出し、最高点をつけた応募者を落札候補者とした。

### 3. 総合評価技術委員会等の開催状況

総合評価技術委員会の開催状況並びに実施方針・入札公告等の公表状況は、表2に示す通りである。

表2 総合評価技術委員会の開催状況、実施方針・入札公告等の公表状況

日 程	内 容
平成26年4月10日	第1回総合評価技術委員会 (実施方針(案)、要求水準書(案)、落札者決定基準書(案)等の審議)
平成26年4月15日	実施方針、要求水準書(案)の公表
平成26年5月1日	第2回総合評価技術委員会 (入札公告・入札説明書(案)、要求水準書(案)、落札者決定基準書(案)等の審議)
平成26年5月15日	入札公告、入札説明書、落札者決定基準書等の公表
平成26年6月3日～6日	入札参加資格確認申請書の提出
平成26年6月12日	入札参加資格審査結果の通知
平成26年7月24日	第3回総合評価技術委員会 (設計内容の審査、提案書等審査方法、ヒアリング実施要領書(案)等の審議)
平成26年8月29日	技術提案書、入札書の提出
平成26年9月26日	第4回総合評価技術委員会 (基礎審査、ヒアリング、技術提案審査、入札価格審査、落札候補者の選定)
平成26年10月1日	落札者の決定
平成26年10月3日	入札結果の公表
平成26年10月10日	建設工事請負契約の締結
平成26年11月4日	審査結果の公表

## 4. 審査結果の概要

### 4.1 応募者

対象となる応募者は、表 3 に示すとおり 3 グループであった。なお、応募者番号ケヤキは、資格審査通過後、辞退届を提出したため、基礎審査以降の審査は行っていない。

表 3 応募者一覧

(応募者番号順)

応募者番号	代表企業	構成員
アカマツ	株式会社大林組東京本店	クボタ環境サービス株式会社 湯澤工業株式会社 株式会社内藤ハウス
ケヤキ	大成建設株式会社	株式会社早野組 水 i n g 株式会社 国際建設株式会社
ヒノキ	清水建設株式会社関東支店	日立造船株式会社東京本社 天野工業株式会社 三井建設工業株式会社

### 4.2 資格審査

資格審査は、本工事における入札説明書で示した入札参加資格要件に応募者が満たしていることを確認した。

資格審査の結果は、応募のあった 3 グループとも入札参加資格要件を満足していた。

表 4 入札参加資格審査

入札参加資格要件	アカマツ	ケヤキ	ヒノキ
特定建設工事共同企業体の構成（入札説明書 3.2 (1)）	満足	満足	満足
構成員の制限（入札説明書 3.2 (2)）	満足	満足	満足
土木・建築を行う構成員の資格要件（入札説明書 3.2 (3)）	満足	満足	満足
浸出水処理施設整備を行う構成員の資格要件 （入札説明書 3.2 (4)）	満足	満足	満足

### 4.3 基礎審査

基礎審査は、応募者により提出された提案図書等に記載された内容が、落札者決定基準書に示す基礎審査項目を満たしていることを確認した。

基礎審査の結果は、提案書等の提出があった2グループとも、基礎審査項目を満足していた。

表5 基礎審査結果

基礎審査項目		アカマツ	ヒノキ
提出書類	必要な書類がそろっているか	そろっている	そろっている
	書類間で整合しているか	整合している	整合している
提案図書と要求水準書の適合性	要求水準書で示す性能要件を満足した技術提案がされているか	満足している	満足している

### 4.4 技術提案審査

技術提案審査は、応募者が要求水準を満足することはもとより、要求水準を達成するための具体的な方法及び要求水準を超える具体的提案内容を審査し、点数化した。

技術評価点は、応募者から提出された提案書等をもとに、応募者からのヒアリングを経て、落札者決定基準書に示す16の評価項目について表6を評価の視点として、表8に示す5段階の評価を行い、提案内容を点数化し、落札者決定基準書に示す式にもとづき算出した。

技術提案審査結果は、表7に示す通りである。

なお、落札者決定基準書に示す「運営・維持管理にかかる上限価格を上回る技術提案は、審査を行わず失格とする」としたが、アカマツ及びヒノキともに上限価格を下回っており、失格に該当する応募者はなかった。

処分場設計は、遮水構造、漏水検知システム、設計・照査方針及びコスト縮減について、提案内容が具体的であり、2グループとも大きな期待ができる内容であった。

水処理システムは、浸出水処理施設について、提案内容が具体的であり、2グループとも大きな期待ができる内容であった。運営維持管理への配慮については、アカマツの方がよりカルシウムスケール発生抑制に対する効果があると考えられる提案であった。

環境配慮は、工事期間中及び埋立時の環境対策、環境影響評価への対策について、提案内容が具体的であり、2グループとも大きな期待ができる内容であった。省エネルギー対策については、2グループとも自然エネルギーを有効利用した提案であったが、アカマツの方がより効果が大きいと考えられる提案であった。

施工計画は、2グループとも工事工程を短縮し、活用資材や安全対策について提案内容が具体的であり、2グループとも大きな期待ができる内容であった。建築計画については、2グループとも機能性が高い提案であったが、アカマツの方がよりデザイン性に優れた提案であった。

運営・維持管理は、施設運営・維持管理について、設計施工を行う建設共同企業体が、運営・維持管理の共同企業体を形成し、20年間の運営・維持管理に責任を負うことを明示しているとともに、提案内容が具体的であり、2グループとも大きな期待ができる内容であった。また運営・維持管理費は、2グループとも上限価格を下回り、費用を削減させる方策についても提案が具体的であり、大きな期待ができる内容であった。緊急事態への対応については、2グループとも期待ができる内容であったが、アカマツの方がより具体的な提案であり、大きな期待ができる内容であった。

地域貢献は、2グループとも、地元企業の活用連携、地元住民への配慮など、提案内容が具体的であり大きな期待ができる内容であった。

表 6 評価の視点

評価項目		評価の視点
処分場設計	遮水構造	地下水や地質に関する地域特性をふまえた底盤及び法面の遮水構造、各種材料の妥当性、施工品質の管理方法について評価する。また、地震や異常豪雨等の想定される災害に対する提案、破損時の修復方法について評価する。
	漏水検知システム	電極方式、検知方法、検知精度・範囲、稼働実績について評価する。また、漏水検知システムが遮水シートその他処分場施設を破損、損傷させないための具体的な対策について評価する。
	設計・照査方針及びコスト縮減	遮水工以外の施設設計・照査において、体制、照査方法、コスト縮減への具体的な取組みについて評価する。
水処理システム	施設の性能・機能	処理機能の妥当性、水質変動への対応性、排水基準の変更への対応性等について評価する。
	運営維持管理への配慮	設計・施工の実施にあたり、運営・維持管理での総合的なコスト縮減や維持管理の効率化への配慮について評価する。
環境配慮	環境対策	工事期間中及び埋立時における騒音、振動、排水、粉じん、地下水、土壌等に対する環境負荷低減へのモニタリング計画及び対策、地域住民対策について評価する。
	環境影響評価への対策	施設設計や、維持管理期間において実施可能な環境保全措置、環境負荷低減対策について評価する。また、環境保全や環境負荷低減への対策について評価する。
	省エネルギー対策	運営・維持管理に考慮した自然エネルギーの有効活用や省エネルギー対策について評価する。
施工計画	工事工程	工事工程の妥当性及び短縮への配慮について評価する。
	建築計画	管理棟や水処理管理棟の建築物について、機能性への配慮、施設外観等について評価する。
	活用資材	県産資材やリサイクル製品の活用について評価する。
	安全対策	施工中における作業環境、作業員・搬入車等への安全性、事故防止対策について評価する。
運営・維持管理	施設運営・維持管理	運営・維持管理の実施体制について評価する。また、早期安定化や廃止に配慮した埋立方法、安全・安定的な稼働のための施設管理・点検方法等について評価する。
	緊急事態への対応	水質異常時や漏水検知作動時、災害発生時における対応、体制について評価する。
	運営・維持管理費	埋立作業や水処理に係る薬品・電気等、その他施設管理等に係る運営維持管理費用を削減させる方法や費用について評価する。
地域貢献	地元企業・地元住民等	地元企業との連携や地元住民への配慮について評価する。

表7 技術提案審査結果

評価項目		配点	アカマツ	ヒノキ
処分場設計	遮水構造	7	5.25	5.25
	漏水検知システム	3	2.25	2.25
	設計・照査方針及びコスト縮減	3	2.25	2.25
	小計	13	9.75	9.75
水処理システム	施設の性能・機能	4	3.00	3.00
	運営維持管理への配慮	2	1.50	1.00
	小計	6	4.50	4.00
環境配慮	環境対策	3	2.25	2.25
	環境影響評価への対策	3	2.25	2.25
	省エネルギー対策	2	1.50	1.00
	小計	8	6.00	5.50
施工計画	工事工程	5	3.75	3.75
	建築計画	1	0.75	0.50
	活用資材	2	1.50	1.50
	安全対策	2	1.00	1.00
	小計	10	7.00	6.75
運営・維持管理	施設運営・維持管理	4	3.00	3.00
	緊急事態への対応	2	1.50	1.00
	運営・維持管理費	5	3.75	3.75
	小計	11	8.25	7.75
地域貢献	地元企業・地元住民等	2	1.50	1.50
	小計	2	1.50	1.50
合計（得点）		50	37.00	35.25
<b>技術評価点</b>		-	<b>50.00</b>	<b>47.64</b>

注) 1. 技術評価点＝配点(50点)×(得点/応募者内での最高得点)

注) 2. 得点は小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで算出

表8 評価項目の点数化方法

評価	評価内容	点数化方法
評価5	提案内容が優れており、非常に大きな期待ができる	配点×1.00
評価4	提案内容が優れており、大きな期待ができる	配点×0.75
評価3	提案内容に期待ができる	配点×0.50
評価2	提案内容にあまり期待ができない	配点×0.25
評価1	提案内容にほとんど期待ができない	配点×0.00

#### 4.5 入札価格審査

入札価格審査は、落札者決定基準書に基づき評価を行った。

入札価格審査結果は、表 9 に示すとおりである。

入札価格が入札書比較価格を上回っている応募者はなかった。また、低入札調査基準価格を下回る低入札価格調査の実施に該当する応募者もなかった。

表 9 入札価格審査結果

項目	アカマツ	ヒノキ
入札価格 (消費税及び地方消費税を除く)	3,900,000,000 円	4,000,000,000 円
価格評価点 (配点 50 点)	50.00	48.75

注) 1. 入札書比較価格 4,076,450,000 円 (消費税及び地方消費税を除く)

注) 2. 価格評価点 = 配点 (50 点) × (最低入札価格 / 入札価格)

注) 3. 得点は小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位まで算出

#### 4.6 総合評価点の算出及び落札候補者の選定

落札者決定基準書に基づき、技術評価点及び価格評価点より総合評価点を算出し、最高点をつけた応募者「アカマツ」を落札候補者として選定した。

表 10 総合評価点の結果

項目	配点	アカマツ	ヒノキ
技術評価点 (技術提案審査)	50	50.00	47.64
価格評価点 (入札価格審査)	50	50.00	48.75
<b>総合評価点</b>	<b>100</b>	<b>100.00</b>	<b>96.39</b>

注) 1. 総合評価点 = 技術評価点 + 価格評価点

注) 2. 得点は小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位まで算出

## 5. 審査講評

本工事では、2 グループから技術提案書の提出を受け、総合評価技術委員会にて審査を行った。いずれのグループも本工事の事業目的を理解し、要求水準を上回るものであるとともに、民間事業者の創意工夫やノウハウが盛り込まれたレベルの高い技術提案を提出し、処分場設計及び浸出水処理施設等の基盤整備部門だけでなく、コスト縮減や工期短縮、運営・維持管理などにおいても十分期待出来る内容であった。

技術提案審査に関しては、処分場設計、コスト縮減、工期の短縮、運営管理など、アカマツ、ヒノキともに十分期待できる内容だった。ヒアリングにおいても両応募者の熱意を感じることができた。アカマツは、水処理システムの運営維持管理への配慮、省エネルギー対策、建築計画、緊急事態への対応などで、より詳細で具体的な提案がみられ、技術評価点が1位となった。

入札価格審査は、アカマツの評価がヒノキの評価を上回る結果となった。

以上の結果により、応募者番号アカマツを落札候補者として選定した。

なお、建設工事や埋立管理にあたっては、地形・地質・水文環境などの地域性を考慮した施工計画や、廃棄物の早期安定化に向けた埋立方法などに留意することが長期間にわたる高い安全性と信頼性に繋がるものであり、適切な事業の推進を期待している。

平成 26 年 9 月 26 日

山梨県市町村総合事務組合立一般廃棄物最終処分場建設工事総合評価技術委員会

委員長	平山 公明
委員長代理	後藤 聡
委員	小野 雄策
委員	滝口 光視
委員	佐藤 昭夫